



みやたけつばさ
宮武 翼

大阪芸術大学 / キャラクター造形学科 / 2020年卒業

2020年、週刊少年ジャンプの新世界漫画賞にて佳作を受賞。その後、苦汁を舐めながらも2022年に週刊少年ジャンプ本誌に読切漫画を掲載。椎間板ヘルニアを患い腰がお釈迦になるも、掲載作品がボイスコミック化した喜びで持ち直す。現在連載ネームを執筆中。嘘みたいにお金がない時、嘘だと思われるのが酷く悲しい。

何が起るかわからない人生で何を成すのか

在学中は音楽にのめり込んでしまい、漫画をほとんど描くことなく卒業してしまいました。厳密に言うと、きちんと作品の形に仕上げたのは4年間を通して、卒業制作で描いた1本だけでした。

オリンピックじゃないんだから、と思われたことでしょう。僕も思いました。もっとちゃんと漫画を描いていればと、後悔の波のプールが押し寄せたこともありました。それでもあの日々を過ごしていなかったら、今の自分の思考や発想は無かったと思うので、やはり「過ごして良かった」時間です。描いた1本は在学中にあった「出張編集部」で名刺をくださった月刊少年マガジンの新人賞に応募し、見事「最終選考止まり」という、雑誌の片隅にボツと名前が載るだけの結果に終わりました。血が出ない程度に唇を噛み締めたのを今でも覚えています。

卒業後は副助手として先生方のお手伝いをさせてもらいながら、うんしょ、うんしょ、と制作に励みました。作品が描き終わる頃に、丁度好きな漫画家さんが新人賞の特別審査員をしていたので、週刊少年ジャンプに投稿しました。そこで有難いことに1番に選んでいただけたことで、今の人生を歩めています。もしここで受賞できていなかったら、ちょっと元気な無職になっていたのが本当にありがとうございました。

先生方にもたくさんアドバイスをいただけたりと、年下の在学生在が受賞してお腹が痛くなるほど焦ったりと、刺激に満ち溢れた環境だったからこそ自分を鼓舞し続けられたんだと思います。本当に感謝しています。

その後1年、頭がおかしくなるほどのボツを経て、受賞から2年後、週刊少年ジャンプの本誌に「PainKiller」という読切を掲載させていただき、これはプロの声優さんがアフレコしてくださるボイスコミックというものにもなりました。アニメ化が死ぬまでに叶えたい夢の1つなので、貴重な経験をさせていただきました。連載が始まったら、応援よろしくお願いたします。

推薦者 / 大阪芸術大学 キャラクター造形学科 学科長 里中 満智子



受賞作品



【ジャンプ漫画】怪しい二人は殺し屋兼お笑い芸人!? 痛快無比のバイオレンス...
ジャンプチャンネル・3.4万回視聴・1年前

Youtube「ジャンプチャンネル」



本誌掲載作品「PainKiller」カラー扉絵



本誌掲載作品「PainKiller」



© 週刊少年ジャンプ 2022年20号 / 集英社